

平成 30 年度 財政公表

問 財政課
28-6007

市では毎年 2 回、市民のみなさんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などがどのように使われたのかをお知らせするため、財政状況の公表を行っています。

今回は、平成 30 年度末における歳入歳出予算の執行状況と平成 30 年度中に実施した主な事業の実施状況をお知らせします。

【一般会計】

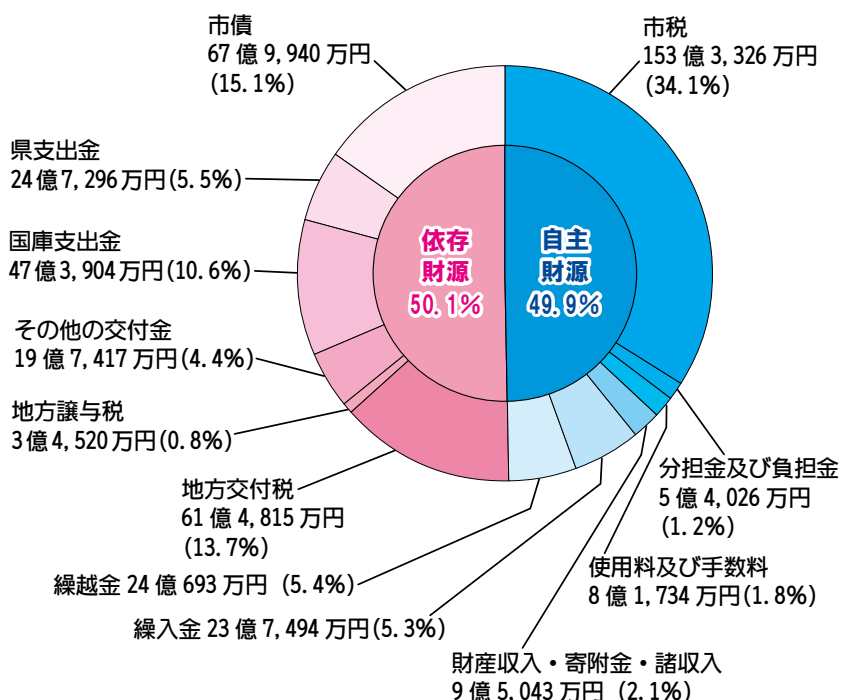
行政サービスの提供や市民生活に欠かせない道路・橋りょうなどの整備を始めとする、行政運営の基本的な経費を計上しているのが一般会計です。

平成 30 年度の一般会計当初予算額は 401 億 5,000 万円でしたが、平成 29 年度から繰り越してきた額や補正予算額により、年度末の予算現額は 461 億 7 万円となりました。予算現額に対する歳入額（収入済額）は 449 億 208 万円で、歳出額（支出済額）は 415 億 351 万円となり、良好な財政状況を維持しています。

歳 入 449 億 208 万円（前年度比 +11.4%）

歳入は、市税や公共施設の使用料などの自主的に収入できる自主財源と、国から交付される地方交付税や国庫支出金、県から交付される各種交付金などの依存財源に大別されます。

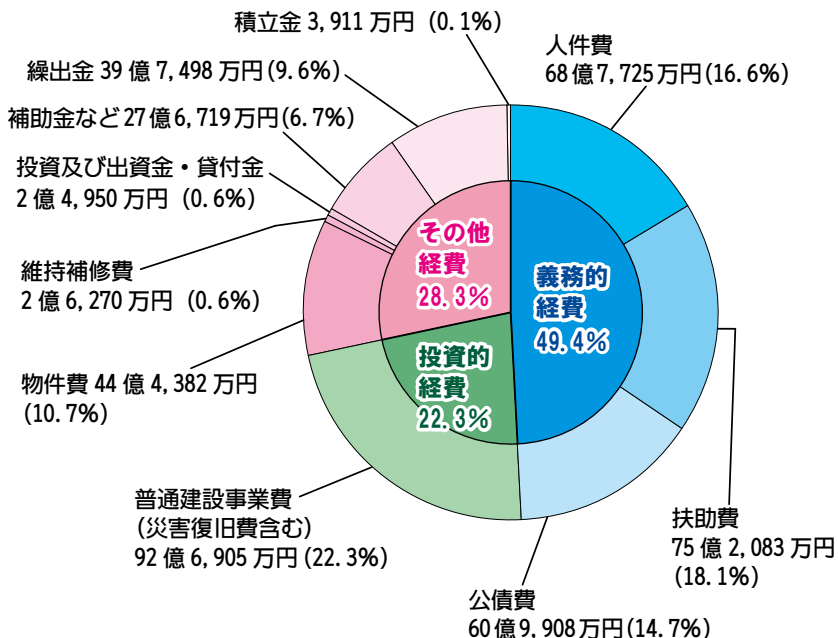
自主財源は、景気回復基調を背景とした企業収益や個人所得の改善に伴い、昨年度に引き続き市税が伸びたことと、市債の繰上償還を行うため減債基金を取り崩し、繰り入れたことから増収となりました。また、依存財源は、新庁舎や学校給食センターの新築工事完成に伴う市債の発行があったため、大幅な増収となっています。歳入全体では、45 億 9,149 万円（前年度比 +11.4%）の増収となっています。



歳 出 415 億 351 万円（前年度比 +9.5%）

歳出は、人件費や扶助費などの義務的経費、道路・公園・公共施設などの社会資本を整備するための投資的経費、市内の各種団体への補助金や将来の支出に備えた積立金などのその他経費の 3 つに大別されます。

投資的経費は、新庁舎や学校給食センターなどの大型建設事業に伴う多額の支出があったため増額となりました。義務的経費は、市債の繰上償還を行ったため公債費が大幅な増額となっています。また、その他経費は、昨年度、減債基金への積み立てを行ったため一時的に増額となりましたが、平成 30 年度は一時的な支出がなかったため減額となっています。歳出全体では、35 億 9,985 万円（前年度比 +9.5%）の増額となっています。



平成 30 年度に実施した事業にかかる歳出額～主な重点事業～



新庁舎

新庁舎建設事業
14 億 3,220 万円



東部学校給食センター

学校給食センター建設事業
14 億 6,180 万円



土居東こども園

認定こども園整備事業
2 億 9,513 万円

安心・安全なまちづくり

- 浸水対策事業 2 億 8,399 万円
- 社会資本整備総合交付金事業（道路・橋りょうの長寿命化・修繕） 4 億 9,288 万円
- 消防施設（救急車など）整備事業 2 億 380 万円

弱者にやさしいまちづくり

- デマンドタクシー運営費 4,249 万円
- 地域生活支援事業 1 億 4,746 万円
- 独居高齢者福祉ネットワーク事業 336 万円

まちの活性化（魅力ある地域づくり）

- 地域おこし協力隊事業 1,376 万円
- 地域コミュニティ活性化事業 242 万円
- 市民文化ホール建設事業 9 億 8,706 万円

子育て支援

- あったか子育て（多子世帯）応援事業 340 万円
- 紙のまちの子育て応援乳児紙おむつ支給事業 3,385 万円

産業支援

- 企業立地促進事業 6,178 万円
- 地域産業人材定着事業 228 万円

暮らしやすいまちづくり

- 空家等対策事業 735 万円
- 公園施設長寿命化対策事業 6,546 万円

他にも、「あったか協働都市」の実現に向け、幅広い分野で事業を実施しました。

平成 30 年度中の市の歳入・歳出額を「市民一人あたり」で考えると税金の負担額は約 18 万円、行政サービス額は約 48 万円です

市民のみなさんにご負担いただいた税金の額（歳入のうち市税の額 ÷ 平成 30 年度末人口 87,005 人）は一人あたり 176,234 円となり、市が提供したサービス額（歳出総額 ÷ 平成 30 年度末人口）は一人あたり 477,024 円になります。

○市民一人あたりの市税負担額

市民税	68,388 円
固定資産税	97,686 円
その他	10,160 円
合計	176,234 円

○市民一人あたりの行政サービス額

費目	平成 30 年度 支出額	一人あたりの 行政サービス額
議会費（市議会の運営）	2 億 6,326 万円	3,026 円
総務費（住民票や戸籍、課税事務、市役所の運営など）	55 億 2,810 万円	63,538 円
民生費（子育て支援や高齢者福祉、障がい者福祉など）	142 億 34 万円	163,213 円
衛生費（健康づくりやごみ処理、公衆衛生など）	24 億 8,962 万円	28,615 円
労働費（勤労者福祉や就労支援など）	4,587 万円	527 円
農林水産業費（農林水産業の振興など）	11 億 7,366 万円	13,489 円
商工費（商工業振興や企業誘致、観光振興など）	6 億 6,969 万円	7,697 円
土木費（道路や橋りょう、公園などの整備、都市計画など）	45 億 7,450 万円	52,577 円
消防費（消防・防災や救急活動など）	15 億 7,072 万円	18,053 円
教育費（学校施設の建設や社会教育、スポーツ振興など）	46 億 4,098 万円	53,342 円
公債費（借入金の返済）	60 億 9,908 万円	70,100 円
災害復旧費（災害復旧）	2 億 4,769 万円	2,847 円
合計	415 億 351 万円	477,024 円